



飛び込み自殺?

インターポール

行方は

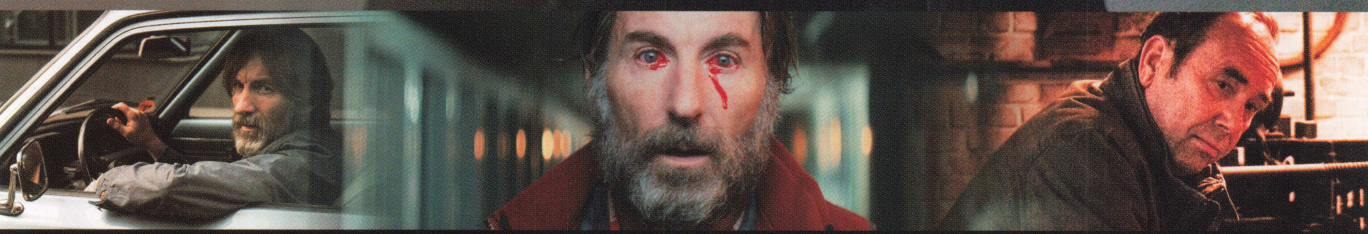
父と息子

血の涙

地下鉄 隠しカメラ 潜入捜査

警察 vs 武装強盗団 vs 過去のない男

STORY その夜、一人の若者が地下鉄のホームから線路に転落する。運転士のレオは、なんとか電車を急停車させ最悪の事態を回避したかに見えた。しかし、若者は銃で撃たれ重症を負っており間もなく息を引き取る。驚くべきことに、彼は疎遠になっていたレオの息子・ユーゴだった。警察は、ユーゴが凶悪な強盗事件に関与していたとして捜査を始めるが、父親であるレオの経歴は謎に包まれていた。一方、息子を失ったレオはたった一人で警察の目を欺きながら危険な真相へと近づいていく。果たしてレオは何者なのか? 警察、強盗団、そして過去のない男レオ、それぞれの思惑と復讐心が導く暴力の連鎖の果て、やがて悲しい真実が明らかになる……。



ヨーロッパを代表するスタッフ&キャストによる凄絶な復讐劇

監督は、第72回カンヌ国際映画祭で審査員賞を受賞した『レ・ミゼラブル』の脚本を手掛けた俊英ジョルダノ・ジェデルリーニ。複雑に絡み合う物語と圧巻の描写力で、新たなノワール・アクションの傑作を作り上げた。その重厚かつ飄々とした存在感で主人公レオを演じるのは、スペイン映画界の至宝アントニオ・デ・ラ・トレ。さらにはフランスから、『17歳』で鬼オフランソワ・オゾンに見いだされて以降新世代のミューズとして活躍を続けるマリーヌ・ヴァクト、『息子のまなざし』でカンヌ国際映画祭主演男優賞獲得経験もある重鎮オリヴィエ・グルメラ、ヨーロッパを代表する豪華俳優陣が集結。悲しくも凄絶な復讐劇を彩っている。



監督・脚本:ジョルダノ・ジェデルリーニ 出演:アントニオ・デ・ラ・トレ, マリーヌ・ヴァクト, オリヴィエ・グルメラ

2022年 / 100分 / ヘルギー・フランス・スペイン / フランス語・スペイン語 / シネスコ / 5.1ch / 字幕翻訳:横井和子 / 原題:ENTRE LA VIE ET LA MORT (英題:ON THE EDGE) / 配給:クロックワークス

© Frakas Productions - Noodles Production - Fasten Films - Entre la vida y la muerte, Ale - Eyeworks films & TV drama - Le Pacte - RTBF - FWB

X F IG @KlockworxInfo

<https://klockworx-v.com/tears/>

5.17 [FRI] ROADSHOW

